

いろいろ火の里 

みかわ

ぎかい



小学生との議場懇談会

医療費増額 コロナ控え解消へ
こんな町になったらいいな
「ぎかい」って何？
イベントの充実を
放課後の居場所対策は
町民目線に立ったデジタル化を
渡部佳子ピアノ教室

12月定例会
小学生との議場懇談会
特別企画 小学生の疑問
一般質問
行政視察
議会提言書
シリーズ⑧「がんばってます」

P 2～3
P 4～5
P 6～7
P 8～14
P 16～17
P 18～19
P 20

No.164
12月議会
2024.
1.15

子どもの医療費 コロナ前水準へ

12月 定例会

第6回議会定例会は12月5日から8日までの会期で開会しました。諸般報告3件の後、町長提案8件を原案どおり可決し、選挙1件を行いました。

なお、一般質問は6人の議員が町政全般について質問しました。

補正予算

一般会計に8522万7千円を追加し、55億982万9千円となりました。

主な質疑

◎民生費

子育て支援医療扶助費に762万6千円を追加

問 増額要因は。また、7月から高校生の医療費無償化、新型コロナナウイルスが5類へ移行したこととの関連は。

町民課長 新型コロナナウイルスの5類移行に伴い、コロナ前の医療費水準に戻ってきたものです。

コロナによる受診控えが解消されてきた事が主な要因だと分析しています。

また、高校生の医療費

無償化に関しては、当初予算で見込んでいた程度で推移しており、今回の増額要因とは関係ありません。

◎総務費

町営バス修繕料106万7千円を追加

問 町営バスの今後のリース等の計画は。

総務課長 町所有バス2台分の修繕料になります。経年劣化等については、リース期間終了時に新たなリース等を考えていきたいと思えます。

◎教育費

小学校教育振興費702万円を追加

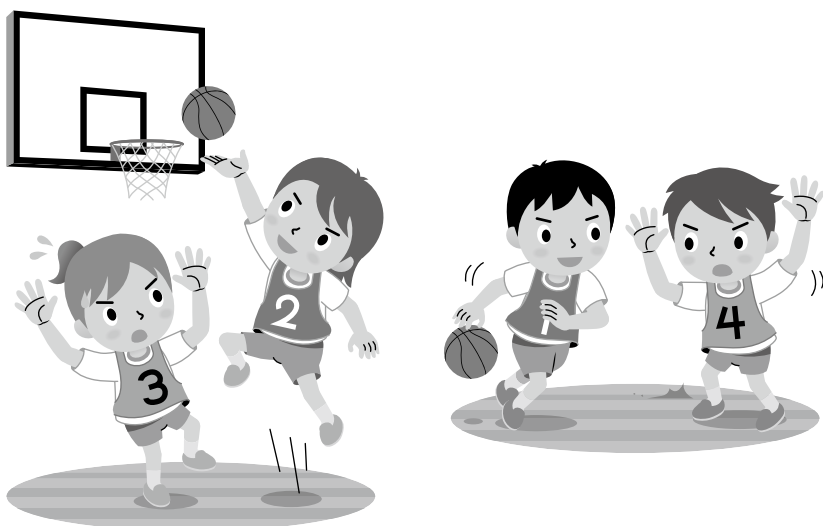
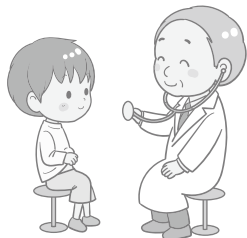
問 費用内訳は。

教育課長 小学校の教科書が令和6年度に改訂することから、教師用の教科書及び指導書、デジタル教科書を購入するものです。

問 4年に1度改訂する教科書において、当初予算化されていない要因は。
教育課長 教科書の選定を7月に行っていて、10月に単価が決定するためです。

◎教育費

中学校備品購入費に246万9千円を追加(可搬式冷房機器導入支援事業費補助金100万円)



問 補助内容、目的は。

教育課長 夏の酷暑を受け、体育館での活動に対して可搬式の冷房機を購入する際の県よりの補助金です。

問 特別教室等を活用したクールダウンが有効では。

教育課長 特別教室の活用に関して、休日や夏休み等での開放は難しいかもしれませんが、状況に応じて学校に確認したいと思えます。

謹賀新年



議長 長 徳久 志田

新型コロナウイルスの影響で近年はいろんな行事、事業が中止・延期されてきました。ワクチン接種や感染予防の徹底などによって、元の日常に戻りつつあります。

今年、希薄化した人の繋がりが濃くなり地域を活性化できればと願っています。

三川町議会では、昨年も町当局に政策や施策を提言しました。今年、「提言書」を検証します。

住民の意見を広く聞く「広聴活動」を充実しながら町民の福祉向上に努力しますのでよろしくお願います。

◎土木費

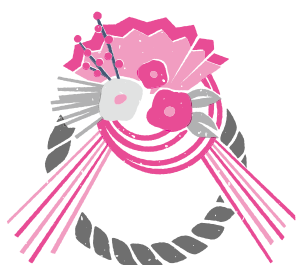
住宅管理費に87万4千円を追加

問 町営住宅の令和5年度における家賃の収入見込み、修繕料、役務費等のトータル的な経費を合わせた収支の状況は。

建設環境課長 令和5年度における町営住宅の収入は630万円弱、歳出は300万円弱を見込んでいます。

問 町営住宅の長寿命化計画が町のホームページに掲載されていない理由

建設環境課長 町営住宅の長寿命化計画について、今後のあり方を精査した上で掲載した方がよいと判断しています。



条例改正

●三川町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
(提案理由) 山形県人事委員会勧告に準じて本町の一般職及び特別職の職員の給与を改定するとともに、60歳を超える職員の見給に関する規定を整備するため。

●三川町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
(提案理由) 放課後児童健全育成事業実施要綱施行に伴い、放課後児童支援員の要件を緩和し令和6年度以降の円滑な事業運営に資するため。

●三川町下水道事業の設置等に関する条例
(提案理由) 下水道事業の持続的な経営の確保を目的に、令和6年4月1日より地方公営企業に移行するため。

読者の窓

(今回から名称を変えました)

1. 議会広報のよく読むページや気になる取り組みはありますか？

町内の団体紹介シリーズに興味があります。目標を持って元気に活動する町民の紹介は町全体に活気と明るさをもたらしています。

2. より読みやすい、手に取りやすい広報紙にはどのような取り組みが良いかアドバイスをお聞かせください。

表題、動きを感じる文字表現だと伝える意図がより分かりやすいと感じます。仮称「読者の窓」を設けて、町民の声を聞くスペースがあったら親近感が湧きます。



小林智子さん (横内)

3. 議会や町への要望等あればお聞かせください。

「女性が活躍できる環境(家庭、地域)づくり」をテーマに深く意見を交わす機会が少ないと感じます。町民総参加の機運づくりに町と議会の活発な行動を期待しています。

人事案件

三川町情報公開・個人情報保護審査会委員の選任

- 熊田 洋勝氏(東沼)
- 上野 千晶氏(横山上)
- 庄司 睦子氏(横川)
- 佐野 和夫氏(猪子)
- 大川 里美氏(上町)

選挙

三川町選挙管理委員会の委員及び補充員

- 近藤 正記氏(上町)
- 荒田 賢二氏(横山下)
- 菊池 謙二氏(猪子)
- 佃 久氏(横山上)
- 補充員
- 石川 昭廣氏(袖東町)
- 杉山 淳一氏(猪子)
- 齋藤 勝洋氏(竹原田)
- 太田 幹雄氏(落合)

もっと活気のある町へ



● みんなで使える公共の場や、みんなが集まる場所を増やすと活気も出ると思っています。

● 児童会や生徒会が中心にかかわりを持って**学校同士の交流**や、地域の方を学校に招いての交流ができるというのがいいのでは。

● 地域も学校のみならず仲良しな、魅力ある町にするには、何ができるかを一人ひとりが**良く考える**ことでは。

● **子育て施設を充実**させると、子どもだけでなく、親やおじいさん、おばあさんまで**つながり**仲良くなれる。

● 地域で**菜の花を植える**ことで、菜の花まつりに向けて地域の菜の花を増やすことができ、交流する機会をつくれる。

● 子どもが町の歩道を自分たちで整備する「**グリーン大作戦**」を行い、ゴミ拾いや草取り、きれいな花を植えたりする活動をする。

横山小学校

- 「明るいあいさつとともに、1人ひとりが考えをもって行動し、成長し続ける学校」がテーマです。素敵なあいさつをしている人を昼の校内放送で紹介しています。「笑顔であいさつすべし」などの「あいさつ憲法」をつくって校内に掲示しています。
- 「廊下歩行」は、ルールや安全について考える身近な機会です。実態と対応策を話し合い、内容を1、2年生にも分かるよう工夫して全校放送をしています。
- 横山小学校は、青少年赤十字に入っています。空き缶集めを通して集まった義援金を、修学旅行で南三陸の方々に届けてきました。



横山小 六年
五十嵐 太地さん

議会で学んだことは、みんなで協力して考えること、実際に言葉にして伝えることの大切さです。
みんなで協力して考えることで、自分にはなかった考えが出てきたり、良い町にしようという気持ちが高まりました。また、実際に言葉にして伝える

押切小学校

- 児童会目標は「ニコニコ広がる押切小」です。
お…思いやりあふれる押切小
し…しっかり伝わるカスタネット返事「はいっ」
き…きもちのよいあいさつ・えしゃく「にこぺこり」
り…りっぱな行動と判断ができる押切っ子
「お・し・き・り」に取り組むことで笑顔（ニコニコ）が広がる押切小を目指しています。
- アルミ缶回収にも力を入れ、お金に換えて車椅子を購入し老人ホームに届けています。



押切小 六年
粕谷 明理さん

初めて議会の席に座りました。最初はとてもきんちようしたけれど、みんなで話し合ったことをしっかりと議員の方々に伝えることができよかったです。また議員の方々の話を聞いて、新しいアイデアを取り入れることができたのもよかったです。また、横山小学校からの質問や、押切小学校からの質問への質問もしっかりと喋る事ができました。とても考えが深まる議会でした。

私たちが頑張っている事

議員と懇談して

明るいあいさつで



●三川町をアピールするため「みかわん」に続き「あかがわん」というキャラクターをつくっては。

●三川町オリジナルの「いも煮」料理を開発し、他県に移動販売車で行って宣伝しては。

●外にバスケットコートも作るなど、多くの人が外で運動できるようにする。

●夜になると暗くて危ない場所が多いため街灯を増やし、道幅が狭いと歩行者が危ないため、道路を広くするなど、交通面を整えては。

●町で交通安全教室をして、いろいろな乗り物に乗ったり楽しいイベントをしながら、安全を学べたらいい。

●あいさつを盛り上げるために、小学生が地域をまわりながら、あいさつを呼びかけてみる。

●パルク赤川やなの花ホール脇のグラウンドゴルフ場を使って、夏は釣り大会や川渡り大会、冬は雪像づくり大会をしては。

東郷小学校



- 「みんなが笑顔になるあいさつ」をキーワードにあいさつ運動に取り組んでいます。あいさつが上手な人を「名人・達人・神」に分けて掲示し紹介しています。
- 「思い描く学校をともに創りあげる子ども」を目指して、みんなで授業を作ることを頑張っています。6年生の授業を、全校みんなが見て授業に生かす学び合いができました。
- 子どもたちが仲良くなるための取り組みを積極的に企画しています。「東郷逃走中」は、全校のみんなで鬼ごっこをします。バースデー紹介でお互いを知り合う機会があります。

ことで、文章で読むよりもよく伝わるのがわかりました。このような体験は初めてだったので、とてもいい経験になりました。

東郷小

東郷小学校のみなさんは、都合により今回の議場懇談会には出席できませんでしたが、貴重な意見をいただきました。

議員の感想

副議長 町野 昌弘

各小学校の頑張っている事に共通して「あいさつ運動」がありました。挨拶は学校生活だけでなく社会に出てからも人とのコミュニケーションを築くうえで欠かせない事なので、三川の子ども達は大人になっても心配なく活躍できる人になると、頼もしく感じました。

て何？ 小学生の素直な疑問



町内の3校にアンケートを実施し、いただいた疑問を掲載しました。



会 議 場

Q 議員にはどのような役割がありますか。

A 税金の使い方を決めたり、条例（町のローカルルール）を決めたりする役割があります。

Q 議会は小中学校と、どのようながかわりがありますか。

A 児童・生徒の皆さんが学校で健康にすごしたり、勉強しやすい環境をつくるために必要な予算を決めたりしています。

Q 議会の話し合いで、一番大変なことはなんでしょうか。

A いろんな意見が出た時に議会として一つの答えを出すのが大変です。



Q 議会は1日おおよそ何時間かかるのですが。（長い時と短い時）

A 普段は5、6時間かかりますが、短い日は2時間くらいで終わる時もあります。

Q 税金は誰が決められているのですか。

A 国税は国会が、県税は県議会で決め、町税は町長が税条例を提案して議会で審議して決めます。





「ぎかい」っ

Q 議員は記者にかん視されていますが。
(ドラマでみてたら)

A 新聞記者に監視される事はありませんが、
町民からは見られていると思います。

Q 税金はどのようなことにつかっている
のですか。

A 町民が安全に楽しく暮らせるように使っ
ています。

Q 議会がない時はなにをしていますか。

A 普段はそれぞれの仕事をしたり、町の課
題などについて調べたりしています。



Q どんな時に議会が開かれるのですか。

A 年に4回の定例議会と、町長が必要と
思ったときに開かれる臨時議会がありま
す。

Q 議会はなぜ必要なのですか。

A 議会が無いと、予算や条例を決めるのに
町民全員で住民投票をして決める事にな
り大変なので、議員が住民の代表として
議会で決めるためです。

三川町議

町政を問う

12月定例会

一般質問



議会ホームページは
こちらから
(音響配信中)



一般質問とは…

町政に関して議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

12月7～8日、6人の議員が以下の項目について質問しました。
●の内容を掲載しています。

小野寺 正樹 議員 (9ページ)

- 今後のイベントのあり方は
- 異常気象に強い土づくり支援策について
- 中学生が主体的に取り組める環境整備と地域との関わりは

鈴木 重行 議員 (10ページ)

- 農作物の品質低下への支援策は
- 子どもの居場所づくりについて

鈴木 淳士 議員 (11ページ)

- ふるさと応援寄附金管理運営の改善策を
- 子育て支援策の今後について

佐久間 千佳 議員 (12ページ)

- これからの農業政策は
- みかわ産業団地及び企業誘致について
- 道路橋梁インフラについて

町野 昌弘 議員 (13ページ)

- 地域公共交通に対する町の対応は
- 町民体育館の照明について
- 町道の維持管理は

砂田 茂 議員 (14ページ)

- 子育て世代の負担軽減と子育て環境について
- 高齢者福祉について

(10) 15ページまとめ 鈴木 淳士

町民による、町民の為のイベントを

町長 今後も賑わいを創出

問 今後のイベントのあり方は。

町長 多くのイベント開催による交流人口、関係人口の拡大と賑わいの創出。さらに、地域経済の活性化を目的として、町内外から多くの皆さまから来場していただき、体験など充実した内容で開催できたものと考えています。

今後とも子どもから高齢者まで多くの方に楽しんでもらえるような内容を検討していきます。

問 より町民が集える納涼祭は。

町長 大勢の来場者を迎える、活気と熱気にあふれるイベントになり、



おの まさき
小野寺 正樹 議員

手作りの祭り、皆さんが気取らずに楽しめる祭りとして開催されるよう、事業を企画していきます。



納涼祭で活躍する若者たち

問 独自の花火大会の開催は。

町長 かつては夏の一大イベントとして開催した経過がありますが、当時の庄内14市町村の開催状況等により、平成14年の花火大会を最後に開催していません。こうした経過も踏まえ慎重に対応していきます。

異常気象に強い土づくり支援策を

問 異常気象に強い米づくりのため、土壌改良剤による一層の支援策は。

町長 異常気象におけるリン酸とケイ酸肥料の効果については、近年、様々な研究により、その有効性が多数報告されてきて、適切な水管理や適期取りとともに土づくりや施肥管理が重要と考えています。

本町においては「新農

業所得構造改革推進事業」の中に「土づくり支援事業」を盛り込み、土壌改良にむけた積極的な取り組みの支援を行っています。

しかし、土壌改良には、相当の年数が必要とされることから、今後とも県やJA等からの技術指導や育成情報の提供に努め、土づくりの支援策を講じていきます。



堆肥と土壌改良剤散布作業

猛暑による農作物への影響は

町長 品質低下や収量の減少など影響大きい



鈴木 重行 議員

問 記録的な猛暑の農作物への影響と、農家経営への影響をどう捉えているか。

が懸念されます。地域農業を持続可能とするための支援策は。

町長 今年の記録的な高温により、水稲における一等米比率の低下や、大豆の青立ちやネギなどの変形・変色、水分不足による病気の発生等が報告されています。

水稲のみならず、多くの農産物の品質低下や収量の減少、さらに、肥料・生産資材や燃料の価格の高騰は、農家経営に大きな影響を与えるものと捉えています。

問 気象災害による減収や品質低下は再生産への意欲の低下



これまでになかった猛暑で
これまでになかった品質低下が

子どもの居場所づくりの充実を

問 子どもや若者が安心して過ごすことができる場の整備について、町の考えは。

備する計画であり、希望者全ての受け入れが可能と考えています。

町長 子どもや若者が地域コミュニティの中で安全に暮らすことが困難な時代になってきていることから、子どもや若者の意見を聞いて、地域住民の協力を求めながら、現在ある地域資源を活用した居場所づくりに努めます。

問 中高生からは学習スペースを求め、声があります。中高生の居場所や学習スペースの設置についての考えは。

現在、学習の場場所は設けていません。中高生が安全・安心に利用できる学習スペースの必要性について、利用希望や実態を把握しながら検討します。

問 共働き世帯や高齢者の就業の増加により、児童保育の利用希望者が増えています。希望者すべての受け入れを可能とする施策は。

来年度から新たな児童保育施設の開設を予定するとともに、長期休業のみの利用希望者に対応する施設を整

子育て支援室長 来年度から新たな児童保育施設の開設を予定するとともに、長期休業のみの利用希望者に対応する施設を整



切れ目のない子どもの居場所づくりを

ふるさと納税の運営体制改善を

町長 より良い結果をめざし検討する



鈴木 淳士 議員

問

ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）の寄附者が選択した「使い道」と実際の使途明細を比較開示し、透明性を高めることにより更なる理解を求めることも肝要では。

町長

寄附金の使途については、ふるさと応援寄附金の申込書に10項目を提示し、寄附者から選択していただいています。

使い道に掲げた項目ごとの具体的な事業と、寄附金の件数や金額などの実績公表については、その効果や公表内容を十分検討したうえで対応していきます。

問

この事業に関する管理運営業務を「株式会社振興公社」に委託するなど、企業連携などによる新たな発想と展開が期待できる外部委託を検討すべき段階では。

町長

管理運営業務及び返礼品に関する業務を産業振興課内に担当を配置し、地元の農産物や企業などの商品の選定とともに、返礼品の提供者に対する事業説明や交流事業を行っています。

企業連携などによる新たな発想と展開については、令和5年10月の制度改正の影響などを注視し、今後も情報収集に努め、より良い結果につながるよう検討していきます。



町の財政運営に影響が大きい「いろり火の里」と「ふるさと納税」

放課後子ども対策は

問

厚労省から地方自治体が実施主体となるべきという方針が示されている中、テオトルの賃貸契約を継続してきた学童保育等に関する来年度以降の実施計画は。

町長

テオトルのほかに押切小体育館ミーティングルームで学童保育を実施しているほか、来年度は「グループホームのんき」内のキッズルームあかりが学童保育所に移行する予定であり、現在と同様の考え方で事業実施していきます。



学童保育事業の実施主体は町のはずだが…

これからの農業政策は

町長 「地域計画」の作成が重要



さくま ちよし 議員
佐久間 千佳



若手農家の意見交換会

問 担い手とされる認定農業者が減少傾向にある中、将来に向けた農業政策は。

町長 本町の認定農業者は令和5年3月末時点で189人となっています。農業従事

者の高齢化や後継者不在による離農などが理由で、農地の集積が進む中、今後さらに減少していくと考えています。

担い手不足は農地の荒廃をまねくなど、地域に与える影響が大きいため、将来にわたって担い手を安定的に確保していくため、若手農業者や新規就農者を増やす取り組み・農地プランを発展させた「地域計画」の作成

などが重要であり、関係機関との連携を図りたいと考えています。

問 水稲を中心とした農業経営が厳しさを増しています。持続可能な農業への影響は。

町長 本年度の水稲における収入については、高温障害による1等米比率の低下等の影響はあったものの、JAの概算金が、昨年より1100円上昇（つや姫を除く）したこと、等級による価格差や収量の減少分については相殺さ

れ、大きな影響は回避されていると認識しています。

企業誘致の機運づくりを

問 みかわ産業団地（第4期）の開発状況は。

町長 土地開発公社が7月以降、測量、設計、地質調査を行っており、年度内の設計業務の完了を目指しています。

問 分譲予定は。

町長 分譲予定8区画について、進出を希望する企業からの事前申込を受け付けたところ、4区画について申し込みいただきました。

問 半導体産業が活発化しています。庄内をあげて、産学官連携の「半導体コンソーシアム（共同企業体）」の立ち上げは。

町長 庄内地域では、半導体に関する企業側の機運の高まりも確認

できていない状況なので、地元産業界の今後の動向を注視していきます。

問 庄内開発協議会等を通して県へ要望するなど、行政からの機運づくりは。

町長 今後機会があれば協議会内で発言をしたいと思います。



みかわ産業団地航空写真

三川町でも「ライドシェア」を

町長 国の制度を確認し検討する



まちの まさひろ
町野 昌弘 議員

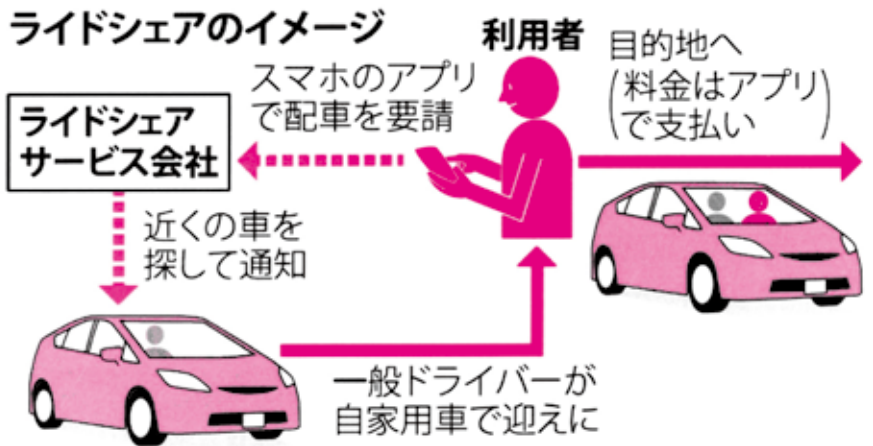
問 国は「ライドシェア」を地域交通問題の解決策に考えているようですが、町の認識は、

町長 地域交通の移動手段問題として認識していますが、安全な運行管理や、タクシー業界との共存が可能ななど、問題もあると考えています。

問 他の自治体では現行法の元、試行錯誤の取り組みが見られますが、町の対応は、

町長 地域公共交通については県内でも行政界を超えた広域の運行をしている実例も見られます。但し、その事業者が単独で事業運営をされ

ていると聞いています。庄内においては課題もありませんが、広域で取り組んで行くよう県にも話をしているところです。今後、国の動きを注視しながら進めて行きたいと思っています。



町民体育館の照明をLEDに

問 町民体育館の照明が暗いという声があります。町の見解は、

教育長 アリーナ部分の照明は建設当初より水銀灯を使用し、スポーツを行う上での照度については一定の基準を充たしています。

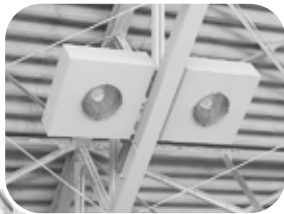
問 水銀灯の場合は照度の基準は充たしていても演色性はトンネル並みの40以下で競技をするには不十分では、

教育長 今後、町民体育館の照明のLED化の検討してまいります。演色性：ランプなど発光する装置が物体を照らしたときに、物体の色見え方に及ぼす光源の性質のこと。

教育課長 確かに大きなボールであれば見えませんが、卓球や文化祭の展示物を見るには見えづらいと認識しています。

問 電気代や演色性を考えてLEDに変えては、

教育長 今後、町民体育館の照明のLED化の検討してまいります。



町民体育館の照明（水銀灯）

三川町にも「放課後デイ」を

町長 近隣施設と連携図る



すなだ 砂田 議員

問 発達に特性のある子どもが利用できる放課後等デイサービスの本町での開設は。

町長 放課後等デイサービス事業は、障害のある児童の健全育成と自立支援に重要な役割を果たして、本町では子どもの個性や生活環境を尊重し、近隣施設と連携を図っています。

問 鶴岡市や酒田市、庄内町に開設している事業所は17あります。三川町にも開設できないか働きかけては。

健康福祉課長 放課後等デイサービスの利用者は、令和元年度が2人、令和2年度が4人、令和3

4年度が6人、令和5年度が10人と増加傾向にあります。出生数は減少傾向であり、新たな事業所を開設するよう働きかけるよりも広域連携という考えでいます。しかし、

「保護者の会」「ドレミの会」があり、近隣市町にも同様のサークルがあります。悩みを抱えている保護者に、障害者相談支援事業やサークルを紹介したり支援していきます。

問 発達障害児の親同士が思いを共有でき繋がる、そういう会と連携する考えは。

健康福祉課長 身体や発達に障害を持つ子どもの保護者の会「ドレミの会」



保護者の方がほっとできる交流の場

「ふるさと給食」で伝承



おいしい「ふるさと給食」には安全・安心な地元食材が使われている

問 学校給食での地元食材の活用状況は。

教育長 米は県の学校給食会を通じて全て三川産が納入されていて、

問 ベンチャー企業が、ゲノム編集された

トマトの苗を全国の小学校に配布する計画を発表していましたが、本町への配布情報は。

教育課長 教育委員会や学校にゲノム編集トマトを配布するといった情報は入っていません。

野菜は地元業者にできる限り納入をお願いし、「ふるさと給食」として郷土料理を取り入れるなど、ふるさとの味の伝承にも努めています。

※ゲノム編集…生物の情報をすべてが集まったゲノムを構成するDNAを切断し遺伝子を書き換える技術。

町内会長との懇談会

両田川橋の架け替えの予定は

令和5年11月8日に各町内会長との懇談会が行われました。

議会から令和5年度
提言書について説明し
たのち町内会長から、
デジタル機器の操作が
不慣れな人への対応策
や、ボランティア人材
の確保対策、町道の整
備・修繕事業の拡充な
どの意見が出されまし
た。

また、意見交換では、
両田川橋の早期架け替
えの要望に対し「今後
とも県議とともに県へ
要望をしていく」など
の意見が交わされまし
た。

その他に、歩道・公
園などの樹木の整備や、
議会定例会の広報のあ
り方などについて協議
され、身近な課題を聞
く貴重な機会となりま
した。



農政懇談会

今後の農業振興について

令和5年11月17日に三川町の農業関係団体との懇談会を行いました。

最初にJA庄内たがわ農
業協同組合代表理事組合
長 海藤喜久男氏より
「JA庄内たがわ これか
らの農業振興策」につい
て講演を頂きました。

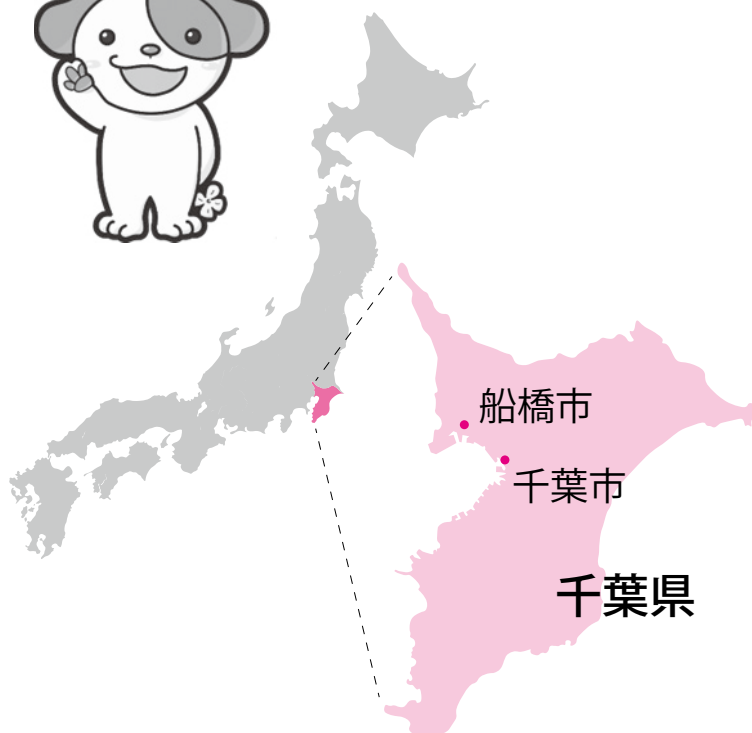
懇談では、夏場の高温
による水稲の品質低下や、
肥料費の高騰に対して農
協独自の支援策を求める
意見などが出されました。
その後、三川町農業委
員会、庄内たがわ農協、
庄内赤川土地改良区から
の情報提供や、今後の農
業振興について意見交換
が行われました。



肥料の高騰に支援が求められる

行政視察研修報告

千葉市：農業Week ちばレポ（ICT活用のまちづくり）
船橋市：放課後子ども教室 学童保育



「農業Week」

10月11・12日

千葉県幕張メッセで開催された「農業Week」
を視察し研修しました。

今回で13回目となる「農業Week」には、農業資材のほかスマート農業、6次産業化、畜産資材、農業脱炭素などのエリアが設けられ850社が出展していて、それぞれに農作業の省力化や収益アップにつながるヒントが多数見られました。また、多彩なセミナーも開催され「スマート農業の未来と市場戦略」「鳥獣被害対策」「若手農業者のトークセッション」などを受講しました。

知ってましたか？

千葉県の人口	627万8千人
世帯数	272万7千世帯
千葉県 全国1位農産物	落花生、ほうれん草、 大根、枝豆、日本梨

千葉市の人口	98万人
世帯数	46万6千世帯
議員定数	50人
主な農産物	野菜やお米、牛乳、 卵など

船橋市の人口	64万5千人
世帯数	29万7千世帯
議員定数	50人
主な農産物	小松菜、人参、枝豆、 船橋の梨など

令和5年11月1日現在



研修を今後のまちづくりに活かす

千葉市「ちばレポ」

10月12日

(ICT活用のまちづくり事業)

「道路が傷んでる」、「公園の遊具が壊れてる」、といった地域の困った課題をスマホアプリを使って市民がレポートすることで、住民と行政、住民どうしの間で課題を共有し合理的・効率的な解決を目指す仕組みで、市民のニーズにきめ細かく応えるなど市民参加型の事業について研修をしました。

今後の方向性として災害・防災、地域資源などでの活用範囲を広げるなど参考になりました。



船橋市「子どもたちの放課後居場所対策」

10月13日

今年度、学童に入れない児童が発生したこともあり、学校開放事業の先進地である船橋市で研修を受けました。

船橋市では、55の全ての市立小学校に「船っこ教室」（放課後子ども教室）と「放課後ルーム」（学童保育）が設置されていました。どちらも勉強したり遊んだりして過ごせて、夏休みなど長期休暇の利用も可能となっていました。「放課後ルーム」は年度ごとの申請が必要で有料でした。

「船っこ教室」は定員がなく一度登録すれば卒業まで継続して利用でき、無料となっていました。

また、課題となっている職員確保のため、多様な媒体の活用状況が説明されました。

時間的な制約で現場視察はできませんでしたが、本町でのより良い放課後居場所づくりの参考となる研修でした。

議会からの主な質問

問 子ども居場所対策事業を始めることとなった経緯と持続するための工夫は。

答 授業の終了後等に小学校の余裕教室や児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を確保し、健全な育成を図るために始めました。なるべく学校敷地内で運営することなどを工夫しています。

問 定員超過になった場合の対応策は。

答 放課後ルームについては、定員超過になった場合に点数により入所順位をつけており、低学年の児童の点数が高くなるような配点をしています。

Q：「船っこ教室」と「放課後ルーム」って、何がちがうの？

	船っこ教室	放課後ルーム
対象	小学1～6年生	
利用料金	無料	有料(月額1万円) ※おやつ代(2,000円)含む
活動場所	学校内 (校内の決められた活動場所)	学校内または学校外 (ルームにより異なります)
利用条件(※1)	なし	あり(保護者の就労等)
利用時間	17時まで	19時まで
入退室連絡メール	あり	

(※1) 船っこ教室は、一度登録すれば卒業まで継続して利用できます。
放課後ルームは年度ごとに申請が必要です。

船橋市資料より抜粋

へ 政策提言



12月14日、総務文教・産業建設厚生の常任委員会及び学童問題検討委員会が1年間検討した結果を「令和5年度議会提言」として町長に提出しました。

町道の維持・修繕について

～課題～

公共インフラの多くは、高度経済成長期以降に人口増加や経済発展を前提に急速に整備されており、今後一斉に更新時期を迎えることが懸念されている。三川町道路長寿命化修繕計画においては劣化の少ない初期段階での予防保全型管理が計画されているが、国からの補助金等を見込むことが困難な状況もあり、未改良の路線が多く残ったままとなっている。



劣化の進む町道

～提言～

町民が安心して生活を送るためにも町道の整備は重要である。交付金に依存するだけでなく、将来へ負担を先送りしないよう確実な予算措置により修繕計画の促進に一層努めるべきである。

ボランティア意識の醸成について

～課題～

子育て世代から高齢者まで、幅広い世代からのボランティアを求める広範な要望に応えられるだけの人材の確保が課題となっている。

また、ボランティア活動への参加がより円滑に行われるよう、住民への意識の醸成を図る必要がある。



社会福祉センターに設置された「ボランティアセンター」

～提言～

ボランティア活動への住民意識の向上を図り、有償ボランティアの導入などにより幅広い年代からの参加を促すべきである。

ボランティア活動への積極的な支援と広範囲にわたるポスター掲示など、啓発活動に取り組むべきである。

議会から町

デジタル田園都市の具現化策について

～課題～

国では、人口減少や地域産業の衰退などをデジタルの活用により「誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指すとしていることから、各自治体に対しても一層のデジタル化が求められる。

また、町民に対してはスマートフォンなどデジタル機器の利活用に関する助言、指導体制の拡充が一層必要になるものと思われる。



～提言～

デジタル技術の普及による「新たな日常」を確立するために、日常生活の利便性向上と行政運営の効率化に関する具体策を描き、これを町民との共通理解のもとで推進することが肝要であることから、次の通り提言する。

- ・「三川町 DX 推進計画」のうち住民生活に直結する部分について分かりやすい解説書を配布するなど、計画の周知活動を実施すべきである。
- ・スマートフォンのLINE等を活用して一人暮らし高齢者等の安否確認や困りごと相談に対応するなど、高齢化を踏まえた「新たなコミュニケーション体制」の構築をめざした具体的な取組みに着手すべきである。
- ・DX推進計画の周知と併せて、高齢者等に対するデジタル機器の操作方法に関する指導助言体制を確立するなどの支援策を実施すべきである。

学童保育の待機児童問題について

～課題～

宅地開発も進行しており、ますます核家族化が加速されると思われる、第4次総合計画にある「子どもを安心して産み育てられる町」にするためには、学童問題解決が喫緊の課題である。

現在の施設「テオトル」でも床面積には余裕があるものの、安全面を考えると受け入れ定員が増やせない状況にあり、増やすには施設と共に支援員・補助員の確保が課題と考えられる。



押切小学校に設置された学童施設

～提言～

学童保育を希望される町民が不安なく預けられるよう、新たな民間の学童保育施設の誘致を検討しつつ、既存の施設の支援員・補助員確保に町内の有資格者や事業に理解のある人からの協力を求める等、十分な体制を町が主導的に整えるべきである。

また、学童保育だけではなく子どもの居場所づくりとしての「放課後子ども教室」と二本立ての、幅の広い支援を検討するべきである。

がんばってます

渡部佳子ピアノ教室

「ワクワクするような音楽体験を…」



リハーサル風景

ながら一緒に学んでいきたいと思つています。かつて教えた生徒さんのお子さんが習いに来てくれて、親子で連弾！なんて姿を見せてもらうのは、とても嬉しい時間です。

縁あって三川町に嫁いだから30年。押切地区にピアノ教室を開いて、保育園児から大人まで、音楽と共にたくさんの人達と関わらせていただきました。

教室では年に一度、日頃の成果を發揮すべく発表会を開催しています。今年も12月16日に庄内町の響ホールにて開催いたしました。

川町の「テオトル」と発表の場を分けています。アンサンブルステージでは、親子・兄弟・姉妹・お友だち同士の連弾や楽器演奏などバラエティーに富んだプログラムになっています。ソロステージとは違った和やかな雰囲気にも含まれます。

親子でピアノ連弾も

ピアノを通して一人ひとりが心地よく音楽の楽しさを感じてくれるよう、弾きたいと思う曲が弾けるようにサポートしながら一緒に学んでいきたいと思つています。

たしました。

普段より長い時間をかけて曲と向き合い、それを大きなステージで一人で演奏する。そのことで1ランクも2ランクもステップアップしていく生徒さん達にこちらも励まされます。

コロナ禍を経てソロステージは響ホールで、アンサンブルステージは三



出演前のステージ袖

共に楽しみながらワクワクするような音楽体験が出来るよう努めていきたいです。

渡部佳子ピアノ教室

渡部 佳子



【表紙の写真】

「小学生との

議場懇談会」

(写真) 町野 昌弘

編集室

昨年は春先から学童保育に関する相談が寄せられ、議会全体での対応や熱い話し合いが行われました。

猛暑に入り、熱中症の危険を身近に感じるなど、環境変化に伴う厳しさも体験した一年でありました。

今年「辰年」。活力旺盛で成長し、形が整う年といわれています。

三川町では、宅地の造成や産業団地の造成が進められる予定です。これらと併せて、放課後児童対策についても、昨年の混乱を繰り返すことのないよう確固たる基盤づくりを期待するばかりです。

皆様にとりまして良き年になりますことを御祈念申し上げます。

鈴木 淳士

発行責任者 議会議長 志田 徳久
編集 広報常任委員会

委員長 佐久間千佳
副委員長 町野 昌弘
委員 鈴木 重行

委員 鈴木 淳士
委員 砂田 茂
委員 小野寺正樹